

病害虫防除技術情報第14号

平成23年11月25日

三重県病害虫防除所

健全なイチゴ親株を確保しましょう

- 1 対象作物 : イチゴ
- 2 対象病害虫名 : 炭疽病
- 3 発生状況 : 多い
 - 1) 巡回調査において、苗床における発病株率は、8月上旬では3.3%（平年0.8%）、9月上旬では2.7%（平年0.6%）と平年より多い状況でした。また、本圃における発病株率は、10月上旬では2.8%（平年0.3%）、11月上旬では1.8%（平年0.2%）と、本圃定植以降も平年に比べて発生の多い状況が続いています（表）。
 - 2) 一般圃場での発生は、平年よりも多い状況です。苗床では、7月中下旬以降の台風や降雨、夏季の高温などの影響により、感染が拡大したと考えられます。本圃では、潜在感染株の定植や、定植以降も比較的平年より気温が高かったことなどが影響し、発生が多くなったと思われます。

表. 炭疽病の発生状況

調査年	発病株率 (%)			
	8月上旬 (苗床)	9月上旬 (苗床)	10月上旬 (本圃)	11月上旬 (本圃)
本年	3.3	2.7	2.8	1.8
平年	0.8	0.6	0.3	0.2

※各圃場50株を調査。

※平年値は過去10年間（平成13～22年）の平均。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) 感染株を親株に選定すると、翌年の伝染源となります。健全な親株の確保・育成に努めてください。
 - 2) 親株が不足する場合には、やむをえず定植株から採苗しますが、発病圃場からの採苗は避け、発病していない圃場から行ってください。
 - 3) 雨よけ栽培を導入したり、頭上灌水を避けたりする等、株を濡らさないような管理を行うことや、地面から離れたベンチ上で栽培し水滴の跳ね返りを防ぐことで、感染の機会が減少します。
 - 4) 育苗に使用するプランターや培土の消毒を徹底してください。
 - 5) 農薬はラベルの表示を確認して適切に使用してください。